

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ままはぐ東広島田口事業所（放ディ）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	月単位で活動計画を立て、同じ内容が続かないよう活動の種類を入れかえている。	季節の行事を取り入れ職員間で日々の様子や反応を共有し新しい遊びや支援方法を取り入れている。
2	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	障がい特性に応じて言葉だけでなく視覚支援を用いて意思の疎通を図っている。 保護者に対しては連絡帳や送迎時に日々の様子を分かりやすく伝えている。	表情やしぐさ、反応などジェスチャーを大切に子ども思いや意思をくみ取る関わりを心掛ける。 保護者に対してはLINE等を活用し、写真付きで活動の様子を共有することで安心して預けることができ、連絡や相談がしやすい環境づくりを行っている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ままはぐの地域や関係機関の認知度が低いと思われる。	地域住民や関係機関に事業所の存在や支援内容が十分に知られていない。	関係機関の信頼関係の構築や、ままはぐを知っていただく機会を積極的に設け、発信していく。
2			
3			